

令和3年度全国道路・街路交通情勢調査

自動車起終点調査(OD調査)

データ利用の手引き

令和6年3月

国土交通省 道路局

企画課 道路経済調査室

目 次

1.	自動車起終点調査(OD 調査)について.....	1
1.1	調査概要	1
1.2	調査対象	2
1.3	調査方法	4
2.	集計表について	8
2.1	集計表一覧	8
2.2	集計区分の解説	12
2.3	用語の解説	14
2.4	データ活用にあたって（留意事項）	16

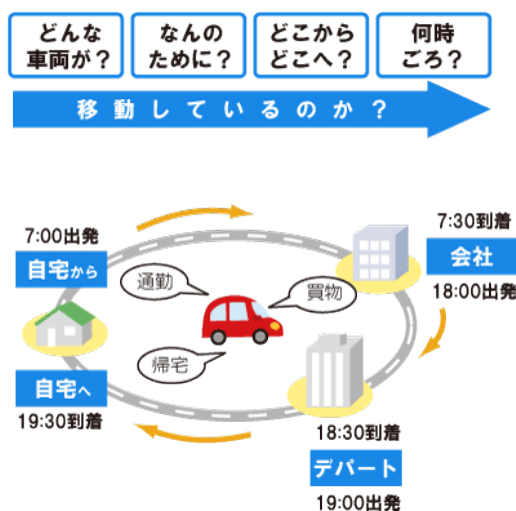
1. 自動車起終点調査(OD 調査)について

1.1 調査概要

(1) 調査の沿革・目的

本調査は、日本全国の道路交通の実態を把握し、道路の計画、建設、管理などについての基礎資料を得ることを目的として、昭和 33 年から概ね 5 年ごとに実施されている調査です。本調査では、秋季（9 月～11 月頃）のある 1 日を調査対象日として、その 1 日における自動車の運行状況（出発地・目的地、トリップ長、運行目的・乗車人員（乗用車類）、積載品目・積載重量（貨物車類）等）を調査しています。

なお、本調査は、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 19 条第 1 項の規定に基づく「一般統計調査」として承認を受けているものです。



(2) 主な活用場面

本調査の主な活用場面として、①OD 表の作成、②将来交通需要推計モデルへの活用があげられます。

調査目的	活用場面の例
①OD表の作成	●現況ODの分析 (渋滞対策等検討時の交通特性分析や交通量配分に活用)
	●将来ODの分析 (事業評価、償還計画、道路計画立案、企画検討、環境アセス等に活用)
②将来交通需要推計モデルへの活用	●将来フレームの設定 平均利用距離、平均輸送人数(乗用車)、平均積載トン数(貨物車)

1.2 調査対象

(1) 調査対象車両

本調査は、三輪以上の自動車のうち次の車種の「自家用車（白および黄ナンバー）」と「営業用車（緑および黒ナンバー）」をそれぞれ対象としています。

車種		
自動車	乗用車	軽乗用車
		乗用車
		バス
	貨物車	軽貨物車
		小型貨物車
		貨客車
		普通貨物車
		特種車

(2) 調査対象地域

本調査は、離島部及び東京電力福島第一原発事故に係る帰還困難区域を除く全国（各都道府県全域）を調査対象としています。

(3) 調査対象者（車両）の選定方法

本調査は、自動車を調査対象としており、「自動車登録ファイル」や「軽自動車検査記録簿」等から、車種別市区町村別に無作為に調査対象車両を抽出、選定します。その上で、当該車両の使用者に対して調査協力依頼や調査物件等を郵送配布しています。

(4) 調査対象日

本調査は、調査実施年の秋季（9月～11月頃）のうち、指定する平日、休日各1日を調査対象日としています。

なお、平日は、火曜日～木曜日で前後に休日がないこと、休日は連休とならない祝祭日及び日曜日とし、平日、休日とも豪雨等の異常天候、選挙や大規模イベント等の通常と異なる交通状況が予想される日は除くようにしています。

(5) 調査規模

本調査は、0D 表の精度（3 車種別 B ゾーン別発生交通量の精度を信頼度 95%、相対誤差 20%で確保）や将来交通需要推計モデルの精度（モデルに使用する指標のカテゴリ別の平均値の精度を信頼度 95%、相対誤差 20%で確保）といった観点を考慮して、車種別、市区町村別に必要な調査台数を設計しています。

令和 3 年度調査では、全国約 7,700 万台の中から約 380 万台（約 4.9%）の車両に調査を行い、約 117.5 万台分の有効な回答を得ています（有効回収率 31%）。

（ ）は回収率

用途 区分	車種区分		有効回収台数（千台）		
			郵送回収	Web回収	計
自家用	乗用車		472(17%)	289(10%)	761(27%)
	貨物車		168(26%)	75(11%)	243(37%)
営業用	乗用車	ハイヤー・ タクシー	10(44%)	4(19%)	15(63%)
		貸切バス	3(41%)	2(33%)	5(74%)
	貨物車		82(25%)	70(21%)	152(46%)
全車計			734(19%)	441(12%)	1,175(31%)

※千台単位で表示しているため、表中の合計が一致しない場合があります

1.3 調査方法

(1) 調査方法(配布及び回収方法)

本調査は、調査対象者に対して調査票等の調査物件を郵送配布し、回答者が調査票もしくは Web のいずれかの回答方法を選択する方式（「郵送配布・郵送または Web 回収方式」）で実施しています。なお、路線バスについては、毎年運行事業者から国土交通省へ提出される「路線バス運行系統別輸送実績報告書」から転記する形で調査を実施しています。

(2) 調査票の種類

本調査は、車両の種類によって以下の調査票でそれぞれ実施しています。

調査票番号	調査票名
調査票 300	自家用乗用車（個人使用車） 世帯・自動車票
調査票 310	自家用乗用車（個人使用車） 流動実態調査票
調査票 320	自家用乗用車（法人使用車） 流動実態調査票
調査票 400	自家用貨物車 流動実態調査票
調査票 500	営業用乗用車（ハイヤー・タクシー） 流動実態調査票
調査票 600	営業用貨物車 流動実態調査票
調査票 700	営業用乗用車（貸切バス） 流動実態調査票
調査票 800	路線バス運行系統別輸送実績報告書転記用紙

(3) 調査項目

本調査は、以下のような項目を調査しています。

- ① 車両の情報
- ② 世帯の情報
- ③ トリップの情報（調査日 1 日の車両の動き）

前述の調査票ごとに調査項目を設定しており、「共通して調査する項目（トリップごとの発着地、発着時間、移動距離など）」と、対象調査票ごとに異なる調査項目（貨物車の積載品目・積載重量、営業用乗用車の乗車定員など）」があります。

■調査項目の一覧（自家用車）

項目		自家用乗用車 (個人使用車)		自家用乗用車 (法人使用車)	自家用 貨物車
		世帯・自動車票	流動実態調査票		
		調査票300	調査票310	調査票320	調査票400
車両の 情報	使用の本拠の位置	●	—	●	●
	使用燃料	●*	—	●	●
	初度登録年月	●*	—	●	●
	車両重量	●*	—	●	●
	最大積載重量	—	—	—	●
	車種	○	—	●	○
	所有形態	—	—	—	●
	業種	—	—	—	○
	事業免許の種類	—	—	—	—
	乗車定員	—	—	—	—
	ETC車載器の設置	○	—	○	○
	調査日の走行距離メーター指示値	○	—	○	○
	車の主な運転者	○	—	—	—
の世 情帯 報等	性別	○	—	—	○
	年齢	○	—	—	○
	職業	○	—	—	—
	就業形態	○	—	—	—
トリ ップ の 情 報	調査車両記号	—	○	—	—
	車両の利用の有無	—	○	○	○
	出発地・目的地の住所	—	○	○	○
	目的地で利用した施設	—	○	○	○
	駐車場所	—	○	○	○
	積んだ重量	—	—	—	○
	降ろした重量	—	—	—	○
	付帯業務の有無	—	—	—	—
	運転者	—	○	—	—
	乗車人員(輸送人員)	—	○	○	○
	出発・到着時刻	—	○	○	○
	移動目的	—	○	○	○
	移動距離	—	○	○	○
	高速道路の利用	—	○	○	○
	積載品目	—	—	—	○
	積載重量	—	—	—	○
	他の交通機関から(へ)の乗り換え	—	○	○	—
	系統キロ数	—	—	—	—
	一日あたり運転回数	—	—	—	—
	年間運行日数	—	—	—	—
	年間走行キロ数	—	—	—	—
	年間輸送人数	—	—	—	—
	1人平均輸送距離	—	—	—	—

●：調査対象車両名簿から転記する項目（*：抽出車両のみ対象となる項目）

○：調査対象者に回答を依頼する項目

■調査項目の一覧（営業用車）

項目		営業用 乗用車 (ハイヤー ・タクシー)	営業用 貨物車	営業用 乗用車 (貸切バス)	路線バス
		調査票500	調査票600	調査票700	調査票800
車両の 情報	使用の本拠の位置	●	●	●	▲
	使用燃料	●	●	●	—
	初度登録年月	●	●	●	—
	車両重量	●	●	●	—
	最大積載重量	—	●	—	—
	車種	—	●	—	—
	所有形態	—	—	—	—
	業種	—	—	—	—
	事業免許の種類	—	○	—	—
	乗車定員	●	—	○	—
	ETC車載器の設置	○	○	○	—
	調査日の走行距離メーター指示値	○	○	○	—
	車の主な運転者	—	—	—	—
の世 情帯 報等	性別	—	—	—	—
	年齢	—	—	—	—
	職業	—	—	—	—
	就業形態	—	—	—	—
トリ ップ の 情 報	調査車両記号	—	—	—	—
	車両の利用の有無	○	○	○	—
	出発地・目的地の住所	○	○	○	▲**
	目的地で利用した施設	—	○	○	—
	駐車場所	—	○	—	—
	積んだ重量	—	○	—	—
	降ろした重量	—	○	—	—
	付帯業務の有無	—	○	—	—
	運転者	—	—	—	—
	乗車人員(輸送人員)	○	○	○	—
	出発・到着時刻	○	○	○	—
	移動目的	—	—	—	—
	移動距離	○	○	○	—
	高速道路の利用	○	○	○	—
	積載品目	—	○	—	—
	積載重量	—	○	—	—
	他の交通機関から(へ)の乗り換え	—	—	—	—
	系統キロ数	—	—	—	▲
	一日あたり運転回数	—	—	—	▲
	年間運行日数	—	—	—	▲
	年間走行キロ数	—	—	—	▲
	年間輸送人数	—	—	—	▲
	1人平均輸送距離	—	—	—	▲

●：調査対象車両名簿から転記する項目

○：調査対象者に回答を依頼する項目

▲：路線バス運行系統別輸送実績報告書から転記する項目（**：停留所のみ記入）

(4) データの作成方法(拡大処理)

本調査は、サンプリング調査（抽出調査）のため、調査した車両から母集団を推計できるように、調査した 1 台が母集団の何台分に相当するのかの情報を付加する拡大処理を車種別、市町村別に行っています。

母集団の大きさを示す拡大母数は、調査年次の 9 月末時点（R30D 調査は、令和 3 年 9 月末時点）の「自動車登録ファイル」及び「軽自動車検査記録簿」に登録されている自動車保有台数を用いています。

2. 集計表について

2.1 集計表一覧

集計表は、時系列集計表（平成 2 年度～令和 3 年度）と、単年度集計表（令和 3 年度）の 2 種類があります。

■時系列集計表（平成 2 年度～令和 3 年度）

集計表		年次	車種業態区分		集計対象マスターデータ	
					オーナー	OD集計
1	発生交通量の推移（車種別、ブロック別、平日）	H2～R3	3車種	－		●
2	走行台キロの推移（車種別、ブロック別、平日）	H2～R3	3車種	－	● (平均トリップ長)	● (トリップ数)
3	稼働率の推移（車種別、業態別、ブロック別、平日）	H2～R3	3車種 (路バス除く)	2業態	●	
4	トリップ原単位(ネット)の推移（車種別、業態別、ブロック別、平日）	H2～R3	3車種 (路バス除く)	2業態	●	
5	トリップ原単位(グロス)の推移（車種別、業態別、ブロック別、平日）	H2～R3	3車種 (路バス除く)	2業態	●	
6	目的構成比の推移（車種別、ブロック別、平日）	H2～R3	2車種 (路バス除く)	－	●	
7	目的別トリップ原単位(ネット)の推移（車種別、ブロック別、平日）	H2～R3	2車種 (路バス除く)	－	●	
8	目的別トリップ原単位(グロス)の推移（車種別、ブロック別、平日）	H2～R3	2車種 (路バス除く)	－	●	
9	平均乗車人数の推移（車種別、業態別、ブロック別、平休別）	H2～R3	3車種 (路バス除く)	2業態	●	
10	平均トリップ長の推移（車種別、業態別、ブロック別、平休別）	H2～R3	3車種 (路バス除く)	2業態	●	
11	平均積載トン数の推移（車種別、業態別、ブロック別、平休別）	H2～R3	貨物車 3車種	2業態	●	

※年次の詳細：

平成 2（1990）年度、平成 6（1994）年度、平成 11（1999）年度、平成 17（2005）年度
平成 22（2010）年度、平成 27（2015）年度、令和 3（2021）年度

■単年度集計表（令和３年度）

[自動車利用特性の基礎集計]

集計表			年次	車種業態区分		集計対象マスターデータ	
						オーナー	OD集計
トリップ数集計	1	車種別OD表（都道府県間、平休別）	R3	2車種	-		●
	2	目的別OD表（都道府県間、平休別）	R3	1車種 （区分なし）	-		●
	3	時間帯別発生交通量（車種別、平休別）	R3	2車種	-		●
	4	トリップ数分布（車種別、平休別）	R3	2車種 （路バス除く）	-	●	
車両重量集計	5	車両重量分布（車種別）	R3	2車種 （路バス除く）	-	●	
トリップ長集計	6	トリップ長分布（車種別、業態別、平休別）	R3	3車種 （路バス除く）	2業態	●	
	7	平均トリップ長（車種別、業態別、ブロック別、平休別）	R3	3車種 （路バス除く）	2業態	●	
	8	目的別トリップ長分布（車種別、平休別）	R3	2車種 （路バス除く）	-	●	
	9	目的別平均トリップ長（車種別、ブロック別、平休別）	R3	2車種 （路バス除く）	-	●	
	10	平均走行距離（車種別、業態別、燃料別、初度登録年次別、平休別）	R3	3車種 （路バス除く）	2業態	●	
乗車人数集計	11	目的別乗車人数比率（車種別、平休別）	R3	2車種 （路バス除く）	-	●	
	12	目的別平均乗車人数（車種別、ブロック別、平休別）	R3	2車種 （路バス除く）	-	●	
高速道路利用率集計	13	距離帯別高速道路利用率（車種別、ETC設置有無別、平休別）	R3	2車種 （路バス除く）	-	●	

[乗用車の利用特性集計]

集計表			年次	車種業態区分		集計対象マスターデータ	
						オーナー	OD集計
トリップ数集計	14	乗用車の時間帯別発生交通量(目的別、平休別)	R3	乗用車 1車種 (区分なし)	-		●
	15	乗用車の乗り換え有無比率(目的別、平休別)	R3	乗用車 1車種 (自家用)	-	●	
	16	乗用車のトリップ原単位(性年齢別、主な運転者の形態別、平休別)	R3	乗用車 1車種 (自家用個人)	-	●	
トリップ長集計	17	乗用車の平均トリップ長(性年齢別、職業別、平休別)	R3	乗用車 1車種 (自家用個人)	-	●	
	18	乗用車の平均トリップ長(性年齢別、就業形態別、平休別)	R3	乗用車 1車種 (自家用個人)	-	●	
乗車率集計	19	タクシー、バスの平均乗車率(乗車定員別、平休別)	R3	乗用車 2車種 (タクシー/バス)	-	●	

[貨物車の利用特性集計]

集計表			年次	車種業態区分		集計対象マスターデータ	
						オーナー	OD集計
トリップ数集計	20	貨物車の駐車場所比率(業態別、付帯業務の有無別、平休別)	R3	貨物車 1車種 (区分なし)	2業態	●	
	21	貨物車のトリップ原単位(業態別、業種別、平休別)	R3	貨物車 1車種 (区分なし)	2業態	●	
トリップ長集計	22	貨物車の平均トリップ長(車種別、業態別、積載品目別、平休別)	R3	貨物車 3車種	2業態	●	
積載トン数集計	23	平均積載トン数(車種別、業態別、積載品目別、平休別)	R3	貨物車 3車種	2業態	●	
	24	平均積載トン数(車種別、業態別、ブロック別、平休別)	R3	貨物車 3車種	2業態	●	
	25	平均積み降りしトン数(積載品目別、施設別、平休別)	R3	貨物車 1車種 (区分なし)	-	●	
	26	平均積載率(事業免許種類別、最大積載重量ランク別、平休別)	R3	貨物車 1車種 (区分なし)	1業態 (営業用)	●	

■集計対象マスターデータの種類

●オーナーマスターデータ

オーナーマスターデータは、国土交通省が実施した「オーナーインタビュー0D 調査」の調査結果をとりまとめたマスターデータです。

車両単位（運休車を含む）でデータが構成されており、トリップチェーン情報（車両単位の1日のトリップ情報）を保持しているため、車両単位の集計を行うことが可能です。また、「オーナーインタビュー0D 調査」の各種調査項目に関する特性分析（例：トリップ長分布、平均トリップ長、平均積載トン数など）が可能です。

●0D 集計用マスターデータ

0D 集計用マスターデータは、「オーナーマスターデータ」と高速道路会社（NEXCO、首都高速、阪神高速、名古屋高速）が同時期に実施した「高速 0D 調査データ」を組合せた、現況 0D 表データです。

トリップ単位（運休車を含まない）でデータが構成されており、「量」の集計を行うことが可能です。ただし、トリップチェーン情報（車両単位の1日のトリップ情報）は保持していません。

2.2 集計区分の解説

(1) 車種業態区分

車種業態区分	車種	業態
3 車種	・ 乗用車 ・ 小型貨物車 ・ 普通貨物車	—
2 車種	・ 乗用車 ・ 貨物車	—
3 車種 /2 業態	・ 乗用車 ・ 小型貨物車 ・ 普通貨物車	・ 自家用 ・ 営業用
貨物 3 車種 /2 業態	・ 小型貨物車 ・ 普通貨物車 ・ 軽貨物車	・ 自家用 ・ 営業用 (軽貨物車は自営区分なし)

(2) 運行目的

運行目的	内容
通勤・通学	学校・会社等への移動
業務	仕事に関係する移動、貨物の運搬などに関する移動
私事	家事、買物、観光、レジャー、通院、習い事などの移動
帰社・帰宅	自宅・会社等への移動
営業	営業用車（タクシー、バス、貨物車などの営業用車）の移動

(3) 業種

業種	内容
第一次産業	農林・漁業
第二次産業	鉱業、建設業、製造業
第三次産業	卸売業、小売業、金融・保険・不動産業、運輸・通信業、電気・ガス・水道・熱供給業、サービス業、公務、分類不能

(4) 積載品目

積載品目	内容
空車	空車
農林水産品	穀物、野菜・果物、その他の農産品、畜産品、水産品、木材、薪炭
鉱産品	石炭、金属鉱、砂利・砂・石材、工業用非金属鉱物
金属・機械工業品	鉄鋼、非鉄鋼金属、金属製品、機械
化学工業品	セメント、その他の窯業品、揮発油、その他の石油、石油製品、コークス、その他の石炭製品、化学薬品、化学肥料、染料・塗料・その他の化学工業品
軽工業品	紙・パルプ、繊維工業品、食料工業品
雑工業品	日用品、その他の製造工業品、金属くず、その他のくずもの、動植物性飼・肥料、廃棄物、輸送用容器、取り合わせ品、分類不能のもの
海上コンテナ	海上コンテナ（20 フィート）、海上コンテナ（40 フィート）、海上コンテナ（40 フィート背高）、海上コンテナ（その他）

(5) 主な運転者

主な運転者	内容
個人専用	概ね特定の個人が使用している車両
家族共用	2 名以上の人が日常的に使用している車両
その他	－

(6) 施設

施設	内容
産業施設	事務所・会社・銀行、スーパー・デパート、その他の商業施設、宿泊施設・ホテル
交通運輸施設	港湾、空港、鉄道駅、トラックターミナル、集配送センター、その他の交通運輸施設、市場、倉庫、工場・作業場
その他	自宅、住宅、教育文化施設、福祉医療施設、行政施設

2.3 用語の解説

◆トリップ

：1つの目的を持ってある地点から別の地点まで移動すること

◆トリップ原単位（ネット）

：運行した車両の1日あたりの移動回数（トリップ数）のこと
＝トリップ数／運休を除く台数（トリップ/台）

◆トリップ原単位（グロス）

：全ての車両の1日あたりの移動回数（トリップ数）のこと
＝トリップ数／運休を含む総台数（トリップ/台）

◆トリップ長

：1トリップ（ある地点から別の地点まで）の移動した距離

◆OD表

：地域間のトリップ数を表形式で表現したもののこと
※出発地（Origin）、目的地（Destination）

◆発生交通量

：ある地域から発生したトリップの総数のこと

◆高速道路利用率

：地域間のトリップ数のうち、高速道路を利用したトリップ数の割合のこと

◆平均乗車人数、平均乗車率

：トリップあたりの乗車人数の平均値と乗車定員に対する割合のこと

◆平均積載トン数、平均積載率

：トリップあたりの積載した貨物重量の平均値と最大積載量に対する割合のこと

◆平均積み降ろしトン数

：出発地で積んだ重量と目的地で降した重量の平均値のこと

◆乗り換え有無比率

：目的地で他の交通機関へ乗り換えした割合のこと

◆駐車場所比率

：目的地での駐車場所区分別に利用された割合のこと

◆稼働率

：調査日に運行された車両の割合のこと

＝運休を除く台数／運休を含む総台数

2.4 データ活用にあたって(留意事項)

(1) データの精度

本調査はサンプリング調査（抽出調査）のため、データには統計的な誤差が含まれます。そのため、サンプル数が少ないデータを用いる際にはデータ精度に留意が必要です。

集計カテゴリ毎にサンプル数が少なく、精度の目安を担保していないデータについては、それぞれの集計データの備考欄に「* 精度未確保」と記載しています。集計値は掲載していますが、集計値を利用する際に留意が必要です。

(2) データの引用・転載について

本データの引用・転載や編集・加工時には、出典として「全国道路・街路交通情勢調査 自動車起終点調査（国土交通省道路局）」と記載ください。